

第13回 旭川流域連絡協議会 議事録

日時：平成16年2月25日(水) 14:00～15:30

場所：建部町文化センター 多目的室

参加者：岡山市、瀬戸町、山陽町、吉井町、御津町、建部町、加茂川町、久米南町、中央町、旭町、落合町、北房町、久世町、勝山町、美甘村、中和村、岡山県土木部河川課、岡山県土木部河川開発課、建部建設事務所、真庭地方振興局、東備地方振興局、岡山河川事務所

打合せ事項

配付資料の議事次第に基づき、以下の事項について打ち合わせを行った。

1) 平成15年度決算報告

事務局から決算報告。監事(岡山県土木部河川課長)から監査報告があり、了承。

2) 平成15年度 活動報告

旭川流域における水防災に関する研究会報告
事務局から配付資料により報告。

流域交流シンポジウム報告

AR-NE T池田氏から配付資料により報告。

3) 平成16年度予算について

事務局案を了承。

4) 平成16年度活動予定について

地域コミュニティ防災体制構築に向けて

・事務局案について、地域コミュニティ防災体制構築の必要性を確認し、了承。

・先進的な地域コミュニティ地区として、各上・中・下流ブロックで岡山市、建部町、落合町内から選定を行っていく方向で調整を進めていくことを了承。

・防災研究会でも問題提起された河積確保のための浚渫や樹木伐採等のハード対策は、各自治体共通の要望であり、平成16年度の活動としてハード対策を進めるための討議も行いつつ、流連として国や県への働きかけを行っていくことが提案され、了承。

AR-NE Tとの連携

・AR-NE Tから来年度の流連との連携活動予定として、例年通り一斉水質調査、流域交流シンポジウム(勝山町開催予定)、体験交流合宿について提案があり、流連との共催とし、引き続き協力していくことを了承。また、「ものだけの協力にとどまらず、民間と行政と一緒に現場に出て川づくりのことを考えていこう」との呼びかけがあった。

・災害だけの観点でなく、川をきれいにしていくという観点からも現場を視察して川づくりを考えていくのはよいことだという意見がでた。

5) その他

全国川サミット報告

加茂川町から、報告とあわせて流連の協力への御礼。

森林税の概要について

岡山県土木部河川課から概要説明。

コイヘルペス問題等対応の体制づくり（河川環境連絡部会設立）について

・各自治体では保健衛生課、環境課等が水質についての担当となるため、主に建設部局の流連担当では対応しきれないという意見があったが、水質事故等実際の対応は水濁協が行う。河川環境連絡部会は、河川環境全般に関する事項の情報交換や情報共有が主目的である。また、流連の中で岡山市・瀬戸町の他は水濁協の構成機関ではないが、流連が水濁協と情報交換することにより、水濁協の広域防災と各自治体との情報交換等の連携が可能となる。部会は、議題によっては各自治体の環境担当部局にも出席をお願いする場合がある。

・事務局案に了承。

「水夢きっず」水辺で実現したい夢の募集パンフレット（情報提供）

連絡事項

・次回協議会の開催は平成16年6月中旬、落合町を予定。